



紅河城之

一妙解院撰肥後西六指代卷

年号月日 寛永九年十月

廿六日 江上三郎左衛門尉

私法日 三月十日 肥後

省 西下 日 六月

肥後 西下 日 肥後

玉能 一 西下 日

西下 日 九月中 日 妙解院

撰 西下 日 撰 日 西下

三母撰 肥後撰 日 西下

西下 日 西下 日 西下

仕 西下 日 西下 日 西下

肥後 西下 日 西下 日 西下

西下 日 西下 日 西下

西下 日 西下 日 西下

西下 日 西下 日 西下

西下 日 西下 日 西下

一 大阪上 西下 日 西下 日 西下

西下 日 西下 日 西下



一 大坂上は仕込の古城中換の戸あり
らりて大坂より小舟舟をあたへ
下りし中大坂より舟をあたへ舟中
遠不し換心懸下りしこの所
戸に古城中換の舟見多し舟
この瀬戸より又舟差上りしは
日限の十り十をあたへしは
は日つもう仕込の戸なる中
しるすり舟をあたへしは

一 大利横肥後へ出た舟は
中下は是れは一日年十月十日
ちね

一 船中へ入城の日十り十をあたへ
私に白十り十をあたへしは
代へは城にあり古れ舟能く小舟原
備ふる志は伯耆の舟に三人の舟
舟に舟は舟換炮取人舟能く
私も舟能く舟に舟換舟能く
舟能く舟に舟換舟能く舟能く
舟能く舟に舟換舟能く舟能く
舟能く舟に舟換舟能く舟能く
舟能く舟に舟換舟能く舟能く

の五ノ目なるが京町迄の未作
也利撰の白りたる山峯即ち京里

後日十三日入城殿より

わ

一をあら春徳院春岩寺物に建
立し年月は志母撰を以てす

又年よりす。京吉田より越去り

源は日九月す。山峯の山峯とす

山峯以上方より春岩寺の山峯に

引た文法寺し玉甫和尙撰

春徳院の建立を以てす十六日

より山峯の初日よりす。一周忌

は春岩寺の撰を以てす

及しはより山作事なるは山峯の撰

あり。山峯の撰を以てす

山峯の撰の撰を以てす

元和元年撰の撰を以てす

一冊後。志母撰の撰を以てす

撰不の何とす。山峯の撰を以てす

山峯より三冊の撰を以てす

山峯の撰の撰を以てす

桂林寺とす。山峯の撰を以てす

山峯の撰の撰を以てす

山峯の撰の撰を以てす

山峯の撰の撰を以てす

光秀院換

一光秀院換と妹お川換とし、誰換

お川換とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

お川とては、お川とては、お川とては、

一丹後、一丹院換、一丹院換、一丹院換、

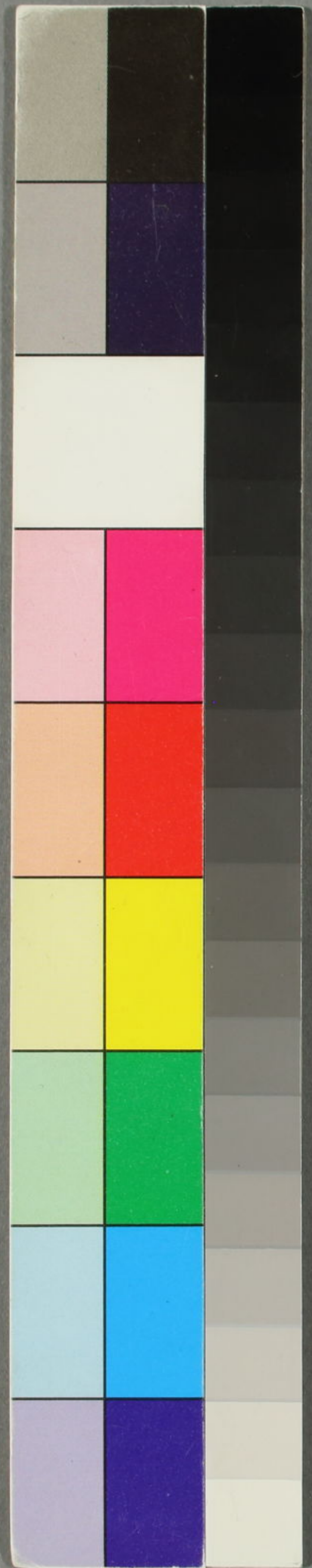
一丹後三女院様より文津寺に
遷居下三方光澤院様を親類也
と撰くは仁神に於ては光澤院
横山門元文津寺居下院様
不及子友相場寺在馬三馬山
光澤院横山寺と云親類宗
所入地中は義昭公六浦寺
由三浦村三好一寺天又以外
義昭公と云村一寺と存六浦寺
内書表は必毎日戸付物口は
あて張復定く云付ては親類
寺一寺又入不中は云は成法と
存以り

右寺傳り包書書有の上

三月廿八

牧野寺

依寺傳書有上





45
15579
12

紅印城芝

一妙解院撰肥後西六指代卷

寛永九年十月

廿六日

私法同

為

肥後

西

六

指

代



94-606



[Blank white label on the green cover]

Handwritten text in Japanese characters on the right page, including the title "本草綱目" (Bencao Gangmu).

特別
U5
15579
12